

川島・うちの学校ではその点逆で、ウエイトリフティングの東北大会などをやった実績もあり、関心は高いようです。

田村・わが校は、まだこれからというところで、今後、生徒にPRしていきたいながら、学校独自のスローガンやポスター作りなどとしていきたいと考えています。

田村・わたしのところでは、取り組んでいるのは先生とわたしだけ。でも、いざとなればみんなやってくれそうな気がします。期待しています。(笑)



田村さん

田村・この前一回推進ニュースということで新聞を出したんですが、読んでくれて私に声をかけてくれる人も多くいて、とても心強く思いました。反面「私たちには関係ない」とゴミ箱に捨てる人もいて、ショックを受けたこともあります。でもプラカード持ちをやってみたいという人もいたり、徐々にムードを盛り上げてきていると思います。

市長・樋口君の話にもありましたが、確かに水球やウエイトリフティングはあまり花形種目ではないかもしれませんが、最近ではウエイトリフティングも大衆化してきていますね。女性なんかでも美容と健康ということでやっている方もいると聞きます。また、水球は観戦して大変おもしろい。

司会・ハンドボール、サッカーなど、いろいろな球技をまとめたようなスポーツですね。

大会の成功とは？ 自分の仕事をやり遂げることは

田村・水球はこれまであまり馴染みがなかったから、逆に観てみたいですね。

大川・一般の人にも観てもらえるよう、ルールを書いたビラなどを作って配りたいと思っています。インターハイは高校生だけではなく、みんなが楽しめるように努力するつもりです。

田村・ゲームのルールを知ってもらうことは大切ですね。

樋口・授業で何回か水球をやりましたが、けっこう楽しい。本格的にルールをマスターしようと思っています。

大川・会場校になっている僕たちが、実はルールをまったくわかってない(笑)

市長・ところで大会が成功だったと言えるのは、どうなった時だと考えますか。

川島・来てくれた人たちがみんな、とても素晴らしい大会だったと言ってもらえるような大会ができればいいと思うけど。

田村・それに大館の人たちが観て楽しいと感じてくれること。

市長・その通りですね。それからもうひとつ、大事なことです。皆さんが一生懸命努力した、努力した後の評価ですね。自分自身の仕事をそれぞれ目標を掲げて取り組みますね。その結果として「こ

市長・それに、何より泳がなければいけない。運動量の激しい大変なスポーツのようですね。

これは成功であった」と思えるように、他人の物差しで計るだけでは、成功、失敗がわからなくなることもありますから、やはり、自分自身にその尺度を決めておくということが大切だと思います。

田村・話は変わりますが、どうして大館市に水球とウエイトリフティングが来ることになったのですか。

市長・どの種目は、すべて高体連にお任せしたんです。でないとやはり花形種目は奪い合いになってしましますし、それではいけないですね。

川島・どうも秋田県の場合、秋田市に経済でも文化でも集中しているような気がします。他市町村との格差があり過ぎて、今回の種目の選定にしても、もっと分散させるべきだったんじゃないでしょうか。



川島くん

市長・種目の分散については、やはり施設に合わせてふりわけているのであって、そのところは誤解のないようお願いします。

司会・ほかに何か気がついた点

要望などは。

田村・トイレもたくさんあった方がいいと思います(笑)それと紙が入っていない時があったから紙も(笑)

田村・プログラムを買わなくてもどこで何をやっているか、日程をどこかに大きく表示したらどうでしょう。

司会・そうですね。皆さんもいろいろ素晴らしいアイデアを出して独自の歓迎ができるよう工夫してみてください。



市長

市長・ひとつの仕事をするにあたっては、目的は何なのか。その目的のためどんな努力をしたのか。そのことが皆さんたち若い世代にどう生かされていくのか。インターハイ成功かどうかではなしに、皆さんの将来への自信につながってほしいと思います。誰のためでもない、自分たちのためのインターハイと考え、これからは頑張りたいですね。私たちも可能な限り、縁の下力持ちとなりお手伝いします。

司会・今日は本当に長い時間にわたって貴重な意見の数々、ありがとうございました。まごころで迎えるインターハイの成功を目指し頑張ることを誓い合いました。

※なお編集の都合により、座談会の中味を一部割愛させていただきました。ご了承願います。

スキーツー

◆第四回市民歩く スキーツー

とき・1月15日(日)

午前10時～午後2時30分

ところ・市民の森

内容・ワックスの基本的な使用方法
初歩的な滑走法ほか

携行品・昼食、着替え、ワックス

対象・一般市民、小・中学生

申込・1月10日まで
社会体育課(市民体育館内)

電話・03310、4310484

参加者全員にバッジをさしあげます

◆少年自然の家 スキーツー

とき・1月12日～14日(2泊3日)

12日12時半まで入所

ところ・少年自然の家と大湯スキー場

対象・小学生(5年以上)から中学生と親または引率者

経費・四千四百円(食事、リフト代他)

持ち物・スキー用具、替え下着、トレパン、内ズック、洗面具ほか

申込・1月7日まで(定員百四十名)

少年自然の家 4313174

※なお、申込みの際、自分のスキー技術を自己診断し希望の級をお知らせください。

